# スマート農機と衛星データを活用した水稲の省力低コスト生産技術の実証に取り組んでいます

農地が大規模農家に集積されていく中、大規模農家が安定的に経営を行っていくためには、スマート技術による大幅な省力化を図る必要があります。その中でも特に省力化に期待ができる**ロボット田植機**・**ドローン**による作業時間の削減効果及び、**衛星データ**を用いた可変施肥の有効性を検証します！

## ロボット田植機・ドローンの実証

ロボット田植機
・田植え時の運転不要。
・作業は苗補給のみ。

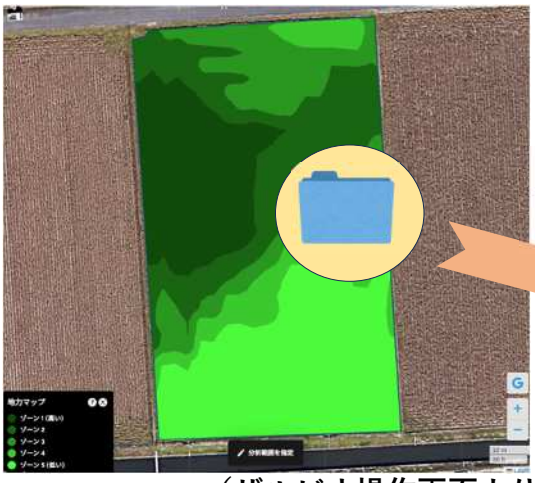
ドローンT25
・農薬防除は自動運転。
・作業は農薬補充、
　バッテリー交換のみ。

作業人数の減少による、延べ作業時間の削減効果を確認します。

乗用管理機と比較した場合の作業時間削減効果を確認します。

## 衛星データを用いた可変施肥の実証

JA全農が提供しているザルビオを使い、衛星画像を基に作成した地力マップや生育マップを活用して、可変施肥をおこないます。



（ザルビオ操作画面より）

地力マップ

**ザルビオ**とは…
（正式：ザルビオフィールドマネージャー）
衛星画像とAI分析による最先端の栽培管理支援システム。

地力のばらつきに合わせて元肥の量を調整

NDVIマップを使って。。。

生育の違いに合わせて追肥の量を調整

**生育の均一化・安定生産を目指します。**

佐賀県農業試験研究センター　企画調整部
企画・スマート農業研究担当
Saga Pref. Agr. Res. Center
Tel：0952(45)2142　Fax：0952(45)8801
Mail：nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp